

平成30年度 維持管理セミナー

「道路トンネル編」



CPDS 8 ユニット

形態コード 103^注上限のあるコードです

講習時間

13:20～17:00

●受講料(テキスト代込)

技士会員 / 6,000 円

— 一般 / 10,000 円

(学習履歴登録手数料は別途)

※札幌会場は 13:00～16:40

使用テキスト:「社会資本維持管理基礎講座Ⅳ 道路トンネル編」

午後からの
半日講習

《講師》 国立研究開発法人 土木研究所(元)職員 講義 1時間×3コマ(予定)

《内容》

現在、国内の道路トンネルは約1万箇所、4千kmを超える総延長に達し、年々増加を続けています。昨今、社会資本ストックに対する適切な維持管理が求められている背景のもと、平成26年6月に国土交通省から道路トンネル定期点検要領が発出されました。今後、財源が制約される中で効率的に維持管理を実施していくためには、適切な点検、診断、措置、記録といったメンテナンスサイクルの確立が求められています。

本セミナーでは、トンネルに関する基本的な知識、維持管理を理解するうえで必要となる設計および施工の考え方、近年の点検制度の概要、実際のトンネルの変状等の実態、点検の留意点および診断の考え方等を主に解説するとともに、変状等の調査手法や対策手法に関しても紹介します。

○学習履歴(ユニット)についての注意事項

8ユニット(形態コード103)の講習ですが、この形態コードは年間取得に上限があります。既に103もしくは106の形態コードでユニットを取得されている方は、この上限で調整され、本講習の受講ユニットが4ユニットとなる可能性があります。以下説明をお読みください

本講座は1時間に2ユニットがつく「形態コード103」の講座で、4時間の受講で8ユニット取得できます。同様に1時間に2ユニットがつく「形態コード106」があります。

これら1時間に2ユニットがつく103と106の合計年間上限は12ユニットです。

そのため、学習履歴証明書を発行する際、12ユニットを超えた分については1時間1ユニットの計算に調整されて記載されます。

例) 監理技術者講習(5年毎の更新)を受講した場合

→ 監理技術者講習 106 コードで12ユニット
本講習 103 コードで8ユニット } 合計20ユニットだが
学習履歴証明書では
16ユニットとなる

セミナーのお申込は JCM のホームページから

<http://www.ejcm.or.jp/>

